

平成 26 年度研究プロジェクト

「サハラ地域におけるイスラーム急進派の活動と資源紛争の研究」分析レポート

エジプトにおけるイスラーム主義運動の現状—スィーサー体制下の活動を中心に

日本大学国際関係学部准教授  
横田 貴之

本報告では、昨今のエジプトにおけるイスラーム主義運動に関する考察を行った。具体的には、アブドゥルフアッターフ・スィーサー政権下におけるイスラーム主義運動の活動に関する現状分析、そしてエジプトのイスラーム主義運動とマグリブ・サハラ地域のイスラーム急進派との関係を検討した。

現在、スィーサー政権はエジプトのイスラーム主義運動を政治的に排除することを基本的な政策としている。その最たる対象は、同国最大のイスラーム主義運動であるムスリム同胞団である。同胞団は、2013年7月にエジプト軍によって解任されたムハンマド・ムルシー元大統領の出身母体であり、軍を最大の後ろ盾とするスィーサー大統領にとっては最大の競合者である。同胞団は2013年12月に当時の暫定政権によって「テロ組織」に指定されるなど、厳しい弾圧下に置かれている。その幹部メンバーは軒並み逮捕され、政治活動は厳しく禁じられている。他方、公式には同胞団に関係ないとされるものの実質的には同胞団系組織とされる NGO など社会奉仕活動は、今なお事実上黙認されており、活動を継続している。現在の同胞団は、社会奉仕活動を中心に組織防衛に終始しており、組織として公に政治活動を活発化させるだけの余裕がない。なお、組織内の指揮系統がマヒし、指導部の統制が弱まっているため、同胞団の活動に限界を感じた一部青年メンバーが同胞団とは別の急進的な組織を設立する可能性が高まっている。

同胞団に協力的であったワサト党や建設発展党などのイスラーム主義政党も同様に政府の抑圧下におかれている。しかし、ムルシー政権とは距離を取っていたヌール党や「強いエジプト党」などは、政党としての活動を容認されている。ムルシー政権・同胞団との関係性に応じて、政権によるイスラーム主義運動・政党の政治的な排除と包摂の区別がなされている。

最近のエジプトにおいて同胞団以上の懸念となっているのが、シナイ半島やリビア国境地帯で武装闘争を行うイスラーム急進派である。代表的な組織としては、シナイ半島を本拠地とする「エルサレムの支援者」が挙げられる。2011年のムバーラク政権崩壊以降、中央政府の治安維持能力が急速に低下した同半島では、イスラーム急進派による軍・治安部隊へのテロ事件や観光客・労働者を標的とする襲撃事件が頻発している。軍・治安当局による掃討作戦が進められているが、イスラーム急進派によるテロ事件の根絶には至ってい

ない。2014年2月、エルサレムの支援者は外国人に対してエジプト国外への退去勧告を発表した。最近の事件としては、2013年12月のマンスーラ警察本部、2014年1月のカイロ警察本部爆破事件などが挙げられる。2014年夏以降は、シナイ半島の不安定な情勢がスエズ運河を超えてナイル川流域・デルタ地帯にも波及する事態がさらに顕著となっている。また、エルサレムの支援者以外にも、「エジプトの兵士たち」や「カタリーブ・フルカーン」などのイスラーム急進派の活動が見られる。

さらに、エジプト西部のリビアとの国境地帯では、内戦状態にあるリビアの不安定な情勢が悪影響を及ぼしつつある。密輸業者と結託した武装集団によるテロ事件が懸念されており、エジプト国境警備隊への襲撃事件も発生し、エジプト側に死者も生じている。

エジプト国内のイスラーム主義運動とマグリブ・サハラ地域との関係性については、これまで密接な連携はほぼ見られない。同胞団などの「穏健派」にとっては、まずはエジプト国内における生き残りが最優先である。また、彼らの亡命メンバーの多くは、英国、トルコ、カタルにほとんどが滞在しており、マグリブ・サハラ地域は活動拠点として重要視されていない。自らの政治的正当性を主張する彼らにとって、マグリブ地域のイスラーム急進派との連携は選択肢としては考えにくい。

他方、シナイ半島を拠点とするイスラーム急進派にとっては、マグリブ・サハラ地域のイスラーム急進派との連携は、組織的な利益があるならば、その可能性は否定できない。特に、最近台頭が著しい「イスラーム国 (IS)」との関係強化によって、ISの大きな傘の下でマグリブ・サハラ地域のイスラーム急進派と協力関係を樹立するかもしれない。実際に、エルサレムの支援者は2014年6月にISへバイア（忠誠の誓い）を行っており、今後はISを軸とする動向に注意を払う必要がある。

治安と経済の回復を最優先課題として掲げるスィーサー政権にとって、国民の政権への支持を維持するためにも、このような治安不安は容認できるものではない。今後も厳しい取り締まりを継続し、彼らを政治的に周縁化するよう努めるものと考えられる。

以上